

新宿区個人情報保護管理運営会議（第8回）概要

開催日時・場所

令和7年12月22日（月） 午前9時30分～午前10時00分
本庁舎3階 庁議室

出席会員等

寺田副区長（会長）、総合政策部長（副会長）、総務部長、福祉部長、子ども家庭部長、健康部長（代理出席）、都市計画部長、総合政策部区政情報課長、情報戦略課長

《 議事概要 》

1 審議内容

新宿区個人情報保護管理運営会議の組織及び運営に関する要綱第3条第3号に掲げる事項

【審議事項】

- （1）L o G o フォームの利用に係る外部結合について（手続の追加）
⇒ 承認
- （2）クラウドストレージサービス（Box）の利用に係る外部結合について
⇒ 承認
- （3）区職員の財形データ授受に係る外部結合について
⇒ 承認
- （4）当初課税業務の委託について（委託内容の追加）
⇒ 承認
- （5）「いきいきハイキング」に係る外部結合等について
⇒ 承認

【サイバーセキュリティに関する専門的な知見を有する者からの主な助言】

運用上及びシステム上の情報保護対策について、サイバーセキュリティに関する専門的な立場から、以下のような助言を受け、反映した。

- ・クラウドストレージサービス（Box）の利用に係る外部結合については、多要素認証を導入するなどしてセキュリティを強化すること。また、サービスの利用規約や約款の内容が、ベンダーの都合で一方的に変更される可能性がないかの確認を徹底すること。
- ・当初課税業務の委託については、住基システムを委託先が操作するにあたり、ログをしっかり記録し、万が一の場合には追跡できるようにしておくこと。
- ・「いきいきハイキング」に係る外部結合等については、高齢者の個人情報漏洩した場合に特殊詐欺などに使用される事例が多いため、十分に気を付けて取り扱うこと。

【発言】

・審議事項（３）について

- ・会長（寺田副区長）：今回、みずほリサーチ&テクノロジー株式会社の Web-EDI という伝送サービスを使用するが、具体的なセキュリティ対策はどのように行っているのか。

- ・区政情報課長：WEB-EDI は、みずほリサーチ&テクノロジー株式会社が提供する伝送サービスで、これまで DVD で行っていたデータ授受を効率化し、情報漏洩などのリスクを軽減するサービスです。

通信は暗号化通信設定の中でもより安全性の高い TLS 暗号化を採用しているほか、電子証明書による認証により、なりすまし防止対策も行われています。また、ISMS に準拠した管理体制を構築しており、24 時間 365 日の監視体制や専門のインシデント対応として、脅威検知・対応を迅速に行う体制が整えられています。

加えて、提供先のみずほリサーチ&テクノロジー株式会社は、ISO 27001 認証やプライバシーマークを取得していることから、情報セキュリティ対策において高い信頼性を確保しております。

・審議事項（４）について

- ・会員：当初課税業務で、税務システムが対象者不明と判断した課税資料について、委託事業者が住基システムを利用して対象者を検索するが、委託事業者が不必要な個人情報を検索できないよう対策はできているのか。

- ・区政情報課長：住基システムでは、戸籍住民課以外の部署が当該システムを利用するにあたり、戸籍情報や在留資格情報などをどこまで表示させるか、戸籍住民課の参照権限の他に、各業務の必要性に応じて４段階に分けて設定できるようになっています。今回は、事業者が不必要な個人情報を閲覧できないように、表示される項目は、氏名や住所、生年月日、転入前住所等、必要な項目として最低限のものとなる設定で住基システムを使用させる予定です。

なお、システム設定だけではなく、委託事業者には、当初課税業務に不必要な個人情報を閲覧しないよう徹底させ、委託に係る個人情報の特記事項を遵守するよう指導します。